

2026年2月7日

第36回多摩麻酔懇話会 運営委員会

司会 杏林大学病院
東京医科大学八王子医療センター

森山 潔 先生
富野 美紀子 先生

出席者

都立神経病院
慈恵西部医療センター
武蔵野赤十字病院
東大和病院
杏林大学附属杉並病院
都立小児総合医療センター
東京医科大学
都立多摩総合医療センター
災害医療センター
東海大学医学部附属八王子病院
市立青梅総合医療センター
公立昭和病院

又吉 宏昭 先生
内海 功 先生
南 浩太郎 先生
高木 敏行 先生
鵜澤 康二 先生
西部 伸一 先生
中澤 春政 先生
山本 博俊 先生
窪田 靖志 先生
齋藤 聡 先生
丸茂 穂積 先生
野中 明彦 先生

議事録作成

株式会社大塚製薬工場 関野敬太

報告事項

- 第36回 多摩麻酔懇話会の状況
大会長の富野先生より、演題数は一般演題8演題であること、ならびに 教育講演および特別講演のテーマについてご報告いただいた。

検討事項

- 第35回 決算
大会長の富野先生より、収入および支出は¥379,913であり繰越金はゼロであることと、(株)大塚製薬工場より¥327,913 負担をご報告いただいた。

- 2、 第 36 回 予算
大会長の富野先生より、丹羽先生の講師謝礼および旅費、ならびに会場費については、共催会社である大塚製薬工場が負担する旨の報告があった。また、丹羽先生は第 35 回特別講演の講師である江木先生と比較して移動距離が短く、宿泊を伴わないため、昨年よりも予算減額となる見込みであるとのこと報告いただいた。

- 3、 参加費について
大会長の富野先生より、参加費として 1,000 円を徴収すること、ならびに優秀賞については Forms を用いた投票により決定することがご報告いただいた。

- 4、 新運営委員に関して
以下の 3 点について承認された。
 1. 事務局長を萬先生から森山先生へ引き継ぐこと。
 2. 東京慈恵会医科大学附属第三病院のリニューアルに伴い、名称を「東京慈恵会医科大学西部医療センター」へ変更すること。
 3. 東京慈恵会医科大学西部医療センターの運営委員を、トマシュ先生から内海先生へ引き継ぐこと。

- 5、 会則文書の保存場所、および役員の年齢制限について
杏林大学医学部 麻酔科学教室ホームページに会則文書等を保存することは既に運営委員の先生方です承済であり、年齢制限についても前回運営委員会において会則第 14 条を「役員の任期は 1 年とし、承認された場合は再任を妨げない」との記載に変更済であることを確認。

- 6、 顧問や名誉顧問などの名称変更について
既に運営委員でなくなった先生方については、現所属の変更やご逝去の有無を確認する方法がないこと、また定年退職ではなく異動により運営委員を外れるケースもあることが指摘された。
そのため、抄録等への記載については、当時多摩麻酔科懇話会に關与していた際の所属を示す意味合いで、「〇〇病院 〇〇先生（運営委員当時）」と表記を統一してはどうかとの意見が出された。
あわせて、抄録に氏名を残す基準を明確にすべきではないかとの意見があり、「多摩麻酔科懇話会立ち上げメンバー」「歴代大会長」「歴代事務局長」などを記載対象として残す案が示された。

これらの検討事項については、今後、毎回の運営委員会において確認しながら方針を決定していくこととした。

7、 次回開催に際して

開催形式は現地（リアル）開催とし、例年どおり3月第1週の土曜日である2026年3月6日（土）に開催することが決定した。

なお、日本集中治療医学会は5月開催となったため、今後は日程調整において避ける必要はないことが確認された。

8、 今後の大会長

37回（2027年）大会長：武蔵野赤十字病院 南 浩太郎 先生

38回（2028年）大会長：杏林大学附属杉並病院 鵜澤 康二 先生

39回（2029年）大会長：杏林大学病院 森山 潔 先生

以上